

The Record

2008-11 Vol.588



特集

5th TAM

東京アジア・ミュージックマーケット開催

● 特報 Special Report

- ・文化審議会著作権分科会私的録音録画小委員会報告
- ・知財戦略本部 デジタル・ネット時代における
知財制度専門調査会報告案が公表
- ・2008年度CDレンタル店実態調査



社団法人 日本レコード協会



Contents

Monthly News Digest	1
特集	
5th TAM 東京アジア・ミュージックマーケット開催	3
特報 Special Report	
文化審議会著作権分科会私的録音録画小委員会報告	7
知財戦略本部 デジタル・ネット時代における 知財制度専門調査会報告案が公表	7
2008年度CDレンタル店実態調査	9
PICK UP	11
Monthly Production Report	12
GOLD DISC	13
Message & Opinion	14

10/02

IFPI統計会議 開催

10月2～3日、イギリスIFPI London オフィスにおいて、統計会議“Marketing Research Event”が開催され、IFPIロンドン、各ナショナルグループ統計担当者、メジャーからのオブザーバー、併せて約80名が参加した。当協会からは、業務部の渡部係長と池田が出席した。

当会議は従前、IFPI各ナショナルグループの統計担当者が一堂に会し、統計関係検討事項を確認する場として機能していたが、昨年より「Share the experiences」、「Share the results」をモットーに、各国の市場状況、各種調査結果等を共有することを目的とした場となっている。

今年度は、市場状況報告、権利収入の統計への取り込み、パイヤシー対策の現状報告のほか、新聞など他業種からのプレゼンテーションが行われた。

10/07

当協会石坂会長 立教大学寄付講座で講義



10月7日、東京都豊島区にある立教大学の当協会寄付講座「音楽をめぐるビジネスと法」において、当協会石坂会長が「音楽産業概論」をテーマに講義を行った。この講座は、本年9月より立教大学社会学部メディア社会学科に設置したもので、毎週ゼミ形式で講義が展開されている。

講義では、日本の音楽の源流に始まり、最新の音楽ビジネスの概要、音楽産業が直面する課題等が語られ、講義終了後は、多数の質問が寄せられた。

10/11

「まなびピアふくしま2008」 開催

10月11～15日、福島県郡山市ビッグパレットふくしまにおいて、「第20回全国生涯学習フェスティバル まなびピアふくしま2008」が開催され、不正商品対策協議会(ACA:当協会を含む11団体・企業で構成)が出展参加した。

このまなびピアは毎年、生涯学習のあり方を提案する場として、全国都道府県で持ち回りによって開催されており、ACAは第1回より参加している。今回も知的財産権の大切さを来場者に伝えるため、ホンモノ・ニセモノの比較展示や知的財産権に関するクイズ大会を行い、ブースには多くの来場者が訪れた。

10/14

第5回 東京アジア・ ミュージックマーケット開催

10月14～17日、東京都品川区の品川プリンスホテル、東京都渋谷区の代官山UNITにおいて、第5回東京アジア・ミュージックマーケットが開催された。

アジア・欧米諸国からバイヤーを招き、プレゼンテーション、商談会、ビジネスセミナー、ショーケースライブを行い、盛況の内に閉幕した。

詳細は、3～6ページの特集にて掲載。



このマークは、レコード会社が提供するコンテンツを示す(社)日本レコード協会の登録商標です

10/16

コ・フェスタ グランドセレモニー開催

10月16日、東京都渋谷区の表参道ヒルズにおいて、JAPAN国際コンテンツフェスティバル(コ・フェスタ)2008のグランドセレモニーが開催され、来日中のIFPIケネディ会長らが参加した。

当日は、メインキャラクターである役所広司氏や2008年イメージキャラクターである杏氏による挨拶のほか、東儀秀樹氏、古澤巖氏、大我氏による演奏パフォーマンスや、高橋智隆氏によるロボットのプログラミングパフォーマンスが行われた。

コ・フェスター色に染まった会場は、華やかなゲストと魅力的なパフォーマンスで大いに盛り上がりを見せた。



10/20

文化庁文化審議会著作権分科会 私的録音録画小委員会 開催

10月20日、東京都千代田区の文部省において、「文化庁文化審議会著作権分科会私的録音録画小委員会(第4回)」が開催された。

今回の委員会では、iPodなどのデジタル携帯プレイヤーなどに新たに補償金を課す制度について、年度末にまとめる審議報告においては賛否両論を併記し、継続審議していくことと決定された。また、違法配信からのダウンロードを30条の権利制限

から除外する件については、法改正の方向で取りまとめがなされることとされた。

詳細は、7ページに掲載。

10/21

携帯向けの違法音楽配信サイト 「第③世界」開設・運営者など 2名を逮捕

10月21日、京都府警察本部生活安全部生活経済課ハイテク犯罪対策室、八幡警察署、および下鴨警察署は、権利者に無断で携帯電話向けの音楽ファイルを送信可能な状態にしていた兵庫県姫路市在住の28歳の男性と同県川西市在住の53歳の男性の2名を逮捕した。

この事件は、28歳の男性が携帯電話向けに着うた®、着うたフル®などを模した音楽ファイルを無料でダウンロードできる携帯電話専用サイト「第③世界」を開設・運営し、当協会会員社であるレコード会社3社が権利を持つ音楽ファイルを無断でアップロードし、不特定多数がダウンロードできる状態にしていたもの。また、同じく53歳の男性も、28歳の男性と共謀の上、同サイトに当協会会員社であるレコード会社が権利を持つ音楽ファイルを無断でアップロードし、不特定多数がダウンロードできる状態にしていた。

このサイトはユーザー数が約100万人を超え、国内最大規模の違法音楽配信サイトと考えられる。また、今回の摘発の対象となった音楽ファイルはいずれも着うたフル®を模したものであり、着うたフル®が対象となった刑事事件は、今回が初めてのケースである。

10/29

知財戦略本部 デジタル・ネット時代における 知財制度専門調査会 開催

10月29日、東京都千代田区の知的財産戦略推進事務局において、「デジタル・ネット時代における知財制度専門調査会(第9回)」が開催された。

今回の調査会では「知的財産推進計画2009」の策定に向けた報告案が検討され、「権利制限の一般規定(日本版フェアユース規定)の導入」などに関する意見集約が行われた。年内の報告書取りまとめに向けて、現在、意見募集が実施されている。

詳細は、7~8ページに掲載。

●●●当協会事務局人事●●●

■新任(11月1日付)

庄司恵人

広報部副部長

(元:(株)BMG JAPAN

営業本部 統括部長 兼 販売促進部長)

2008年度

「携帯音楽を守りたいキャンペーン」

10月度からの参加アーティスト

Spontania

2008年10月会議メモ

10/ 1 マーケティング委員会

10/ 8 広報委員会

10/10 レコード倫理審査会

10/14 法制委員会

10/17 情報・技術委員会

10/24 執行委員会

10/31 理事会

5th TAM

東京アジア・ ミュージックマーケット

開催

～日本から世界へ～



2008年10月14日から17日にかけて、東京港区の品川プリンスホテル、東京渋谷区の代官山UNITにおいて、「第5回東京アジア・ミュージックマーケット(5th TAM)」が開催された。

今年度のTAMは、昨年に引き続き「JAPAN国際コンテンツフェスティバル(通称:コ・フェスタ)」のオフィシャルイベントの一つとして開催された。従来アジアに加え、欧米まで範囲を広げ、日本の魅力あるアーティスト・音楽コンテンツを広く海外に発信すること、また各国の音楽産業の発展と相互の連携拡大を目的としている。

アジアおよび欧米諸国より多数の音楽関係者を招き、「プレゼンテーション・商談会」「ビジネスセミナー」「ショーケースライブ」とさまざまなメニューで日本音楽を海外に向けアピールし、盛況の後に4日間の幕を閉じた。

ここでは今回のTAMをレポートしていく。

主催: 経済産業省、(財)音楽産業・文化振興財団、NPO法人映像産業振興機構
協力: (社)日本レコード協会





プレゼンテーション、商談会

2008年10月14、15日



魅力をより積極的にアピールしようと、10月14、15日の2日間、日本からの参加各社によるプレゼンテーションと商談会が行われた。プレゼンテーションではレコードメーカー各社の担当者が音響と映像を駆使し、自社のアーティストの魅力を熱く語った。引き続き行われた商談会では、各国のバイヤーが出展各社のブースを回り、興味あるアーティストについて熱心に情報を収集した。今年度は、プレゼンテーションで紹介されたアーティストがショーケースライブにも出演したため、海外の音楽関係者は、生のス

今、世界中で、日本のアニメやマンガ等、さまざまなコンテンツが「Cool Japan」と呼ばれ、注目されている。今回のTAMでは、日本のコンテンツ産業の中核を担う日本音楽の

ステージを体感することで自らが興味を抱いたアーティストに対し、より具体的な展開策を見出すことができる構成となっていた。

プレゼンテーションと商談会に参加した海外バイヤーからは、「昨年よりも運営が洗練され、商談もしやすかった。」「日本の音楽コンテンツは、日本人が思っている以上に、クオリティーが高い。もっと、積極的に情報を海外に発信していくべき。」と前向きな意見が出された。国内関係者からは、「個別交渉は手間がかかるもの。国内外の音楽関係者が一堂に会し、日本音楽を紹介できるこのような機会は非常に貴重である。」「ゆくゆくは“日本版 MIDEM”のように音楽の見本市として、世界的に名をはせるイベントになれば。」と、TAMのさらなる発展を望む声があがった。



ビジネスセミナー

2008年10月16日



10月16日、同じく品川プリンスホテルにおいて、欧米やアジアに向けた日本音楽の展開事例に関するセミナーが行われた。

まず午前中には、「～Cool JapanとJ-Pop・J-Rockマーケット～海外ライブ公演の成功に向けて…」をテーマにパネルディスカッション形式のセミナーが行われた。このセミナーは(社)音楽制作者連盟の協力を得て開催され、米国・欧州においてCool Japan関連のイベントを手掛けているオーガナイザーを講師として招き、欧米諸国における日本カルチャーの人気を探った。特に今、欧米諸国で人気のある漫画やアニメ等の展開の検証を行い、音楽も積極的に欧米へ進出し、あらゆる分野とのコラボレートを視野にいたしたライブ公演が必要であると熱い議論が繰り広げられた。

続いて、同じくパネルディスカッション形式で「～日本の音楽が海外市場で成功するための課題と戦略～特に、アジアマーケットで成功するビジネスモデルとは…」をテーマにし、日本音楽の海外進出、特に大きなマーケットとして潜在力を有している中国への進出について、セミナーが行われた。パネリストとして、アジア各国で日本音楽の浸透に尽力しているテレビ番組のプロデューサー、中国で活躍している音楽プロデューサー、アジアにおける配信ビジネスのプロフェッショナルが、日本音楽のグローバル化において必要とされる戦略について、各々の立場から経験に基づいた考察を述べ、議論を展開させた。

※ビジネスセミナーの詳細については、次号で紹介する。



ビジネスセミナー講師

1. ～Cool JapanとJ-Pop・J-Rock マーケット～ 海外ライブ公演の成功に向けて…

■ モデレーター

早川高志氏 [オリコン・リサーチ(株) 市場調査部 次長]

■ パネリスト

Mr. Thomas Sirdey [Japan Expoオーガナイザー] (フランス)
Mr. Jean-Francois Dufour [Japan Expoオーガナイザー] (フランス)
Ms. Trulee Karahashi [Anime-EXPOオーガナイザー] (アメリカ)
Mr. Sean Chiochankitmun [Otakonオーガナイザー] (アメリカ)
Ms. Yaz Noya [イベントコーディネーター] (アメリカ)
Mr. Matthias Muessig [音楽プロモーター、ディストリビューター] (ドイツ)
Mr. Christoph Ortner-Bach [音楽プロモーター、ディストリビューター] (ドイツ)
櫻井晋氏 [(有)クリエイターズ プロデュース ユニット ゴー]
大石征裕氏 [(社)音楽制作者連盟 理事長]
(順不同)

2. ～日本の音楽が海外市場で成功するための課題と戦略～ 特に、アジアマーケットで成功するビジネスモデルとは…

■ モデレーター

スティーヴ・マックルーア氏
[フリーランス ミュージックライター、元『ビルボード』誌アジア支局長]

■ パネリスト

山中宏之氏
[NHKエンタープライズ アジア中国プロジェクト エグゼクティブ・プロデューサー]
下川大介氏
[エイベックス・グループ・ホールディングス(株)コーポレート企画本部 国際戦略室
音楽事業推進部長 兼 エイベックス・アジア・ホールディングス・リミテッド 執行役員]
新井健司氏
[(株)キングレコード 国際部プロデューサー 兼 (株)セブンシーズミュージック 常務取締役]
沈永革氏 [竹書文化 総経理] (中国)
Mr. Dennis Yang [Yahoo! Taiwan, Senior Director] (台湾)
(順不同)

ショーケースライブ

2008年10月14～17日

日本から海外進出を目指すアーティストが、自身の魅力を伝えようと、熱気溢れるLIVEがTAM開催期間中、毎夜繰り広げられた。TAM Showcase Live! Jump Into The Worldと題して行われたライブでは、まず初日となる14日に、彩風(AYAKAJI)、ザッハトルテ、熊猫xiongmao、SpecialThanks、PINKLOOPが登場し個性あふれるパフォーマンスを披露。15日は、Cargo、JtoS、菊地成孔Dub Sextet、DJ SILVAが、CLUB MUSICやJazzなど大人の魅力溢れるステージで観客を惹きつけた。TAM Showcase Live! Jump Into The World

Anime Songs Nightと銘打った16日は、アニメ音楽等で活躍中のALvino、井上あずみ、栗林みな実、タイナカサチ、美郷あき、May'nが出演。多数のファンも駆けつけ大盛況となった。最終日となった17日はTAM Showcase Live! from Abroadと題し、アジア各国で活躍するAOF Pongsak(オーフ ポンサク)、PECK Palitchoke(ペック パリットチョーク)/タイ、soda-green(ソーダグリーン)/台湾、田原(ティエン ユエン)/中国、Pete Teo(ピート・テオ)/マレーシア、WINTERPLAY(ウインタープレイ)/韓国が活気あるステージで会場を魅了した。

■ バイヤーインタビュー

個別商談の会場に来ていた海外のバイヤーに今回のTAMについてコメントをいただいた。

Q1. 今回のTAMに期待すること、また目的は何か。 / Q2. 日本の音楽についてどう考えているか。



■ Mr. David Thomas (イギリス)

Q1 > 新しい音楽の発掘。一緒に仕事ができるパートナーを見つけたい。

Q2 > 日本音楽に関しては、あらゆるジャンルに興味がある。

■ Mr. David Bland (タイ)

Q1 > TAMは2回目だが、昨年築いた関係をさらに発展させていき、タイの音楽市場の拡大に繋げたい。多くの方とコミュニケーションをとることにより、情報を収集したい。

Q2 > 日本人JAZZアーティストをタイで紹介することに成功しているが、ビジュアル系も人気があるのでのではないかと興味を持っている。



■ Ms. Rita Lee (台湾)

Q1 > 昨年度のショーケースライブで観たある日本人アーティストにとっても感動し、ライセンス契約を結んだ。さらに日本との関係を深めていき、台湾のロックフェスティバルにも日本人アーティストを招致していきたい。

Q2 > 台湾で人気が出た日本の音楽が、中国や韓国、香港、シンガポールなどアジア各国に進出していくケースがある。日本音楽とアジアの架け橋になればと考えている。

ジェネオン エンタテインメント株式会社は、海外市場での拡販に成果をあげ、また昨年度のTAMにおいても商談を成立させるなど、積極的に海外市場へのアプローチを続けている。

クロスメディアグループの佐藤氏に、海外市場への取り組みの概要、そこでの工夫、TAMへの期待などを語っていただいた。



Interview

オリジナルな個性ある作品を、海外市場へ送り出したい

ジェネオン エンタテインメント株式会社
制作本部 第二制作部 クロスメディアグループ マネージャー 佐藤裕晴氏

当社の前身はパイオニアLDC(株)であり、もとはレーザーディスク(LD)のソフトウェアの開発・制作に携わっていました。1980年代にLD世界戦略の一端を担い、ワールドワイドで活用できたアニメーションを軸に、映像と音楽の双方で、オリジナルコンテンツを海外展開し、以前から実績を残してきました。そうした経緯もあり、当社は早くから海外市場に着目し、アプローチしてきました。アニメ作品を主体に、メディアミックスでの展開が当社の特徴であり、強みです。MANGAやANIMEという日本文化がビジネスへ発展する時代に沿って、効率的に海外展開できたと考えています。

海外市場で成功するには、オリジナルな個性が求められます。世界で人気を誇るアニメソングやそれを歌うアーティストはビジネスになる手応えがあり、北米・ヨーロッパではCDライセンスを、世界各国ではアニメのイベントでアーティストライブを展開しています。ライブでの、世界のファンの皆さんの熱気はすごく、イベント会場で一緒に歌ってもらると、上手な日本語に驚くほど。音楽を通じて、日本と世界の人が共通の会話を持つ瞬間を目の当たりにし、鳥肌が立つほど感動した記憶があります。こうした環境を背景に、音楽コンテンツの

グローバル化に力を入れ、海外での音楽配信をスタートさせています。各国の配信状況に対応しつつ、iTunes Storeでの販売をヨーロッパ、オセアニア、北米で年内に開始する予定であり、外部レーベルからの受託配信も視野にいれています。また、アジアにおいては、携帯音楽分野での展開を検討しています。

アジア諸国のバイヤーを初めて招いた昨年の4thTAMの商談会では、当社は4作品のライセンス契約を果たしました。意外にもアニメ作品ではなく、クラブ・ジャズ系のアーティストでした。独特の個性が受け、これらの分野も海外進出のチャンスがあると感じました。

今年のTAMでは、視野を世界にまで広げ、北米やヨーロッパの音楽関係者も招聘しました。今回は各国のレコード会社に加え、大手の配信事業者、アニメ・ライブ興行のオーガナイザーも参加し、多くの音楽関係者とコミュニケーションをもつことができました。今回のTAMで、良好なビジネスパートナーの獲得や、ライセンス契約に繋がり、日本音楽が世界で一層の地位を築いていけるよう期待しています。

(談)

特報 Special Report

平成20年10月20日 文化審議会著作権分科会私的録音録画小委員会報告

10月20日、文化審議会著作権分科会私的録音録画小委員会が開催され、今期中の報告書取りまとめに向けて、報告書の骨子案が示された。

私的録音録画補償金制度の見直しに関しては、本年1月に示された文化庁提案(著作権保護技術の普及状況等に照らし、補償金制度による解決は今後縮小することとしつつも、音楽CDからの録音と無料デジタル放送からの録画については当面補償金制度による対応を検討する必要があると整理した上で、具体的な補償金制度案を提示する内容)について、権利者側は受け入れる姿勢を表明し、そのほか委員からも一定の評価をする旨の発言があったが、メーカー側委員が同提案を明確に拒否したことから議論が膠着し、7月の小委員会にて最終報告書においても両論併記とする方向性が示された。

また、30条の範囲の見直しについては、「違法配信等からの私的録音録画」「適法配信からの私的録音録画」の二点を同条の適用範囲から除外することが検討されてきた。これらのうち、後者は、補償金制度の見直しとあわせて継続検討することと整理されたが、前者については、補償金問題と切り離し、法改正の方向性で報告書が取りまとめられることになった。違法配信等からの私的録音録画を30条の範囲から除外することについて、本小委員会委員である当協会生野専務理事からは、改正法の円滑な実施に向けて、著作権教育・啓発活動の推進、エルマークの普及促進などの対策を不退転の決意で行っていく意志が表明された。

特報 Special Report

平成20年10月29日 知財戦略本部 デジタル・ネット時代における 知財制度専門調査会報告案が公表

10月29日、知的財産戦略本部デジタル・ネット時代における知財制度専門調査会(会長 中山信弘氏(弁護士・西村あさひ法律事務所顧問))が開催され、デジタル・ネット時代における知財制度の在り方に関する報告案が取りまとめられた。

同調査会は、近年のデジタル技術の発展やネットワーク化の浸透に対応した知財制度の課題と対応の在り方に関する調査・検討を行うために本年3月に設置され、コンテンツ流通およびイノベーション創出を促進する観点から、著作権法上の課題などを検討してきた。

10月14日の第8回会議で実施された関係者ヒアリングでは、「権利制限の一般規定(日本版フェアユース規定)の導入」に関して、日本芸能実演家団体協議会・実演家著作隣接権センター(CPRA)の権名運営委員が、権利者側の立場から、違法行為の蔓延や権利者側の訴訟負担の増加に関する懸念を示し、一般規定の導入について慎重な検討を求めたほか、「ネット上に流通する違法コンテンツ対策の強化」に関しては、当協会の高杉理事が、インターネット・サービス・プロバイダ(ISP)に対し

て侵害行為を防止する技術的措置を合理的な範囲内で義務付けることや発信者情報の開示請求手続の簡素化が必要であるとの意見を表明した。

本調査会報告案は11月17日までの間、一般の意見募集に付されており、その結果を踏まえて年内に報告書が取りまとめられることになっている。

(意見募集に関するURL)

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/pc/081030/081030comment.html>

報告案の概要

当協会まとめ

I. コンテンツの流通促進方策

問題の所在

音楽など一部のものについてはネットでの流通が進んでいるものの、特に放送・映画等の動画コンテンツの流通は十分に進

んでいないのが現状である。その大きな要因の一つとして挙げられている権利処理コストを低減し、ネット上でのコンテンツの流通を促進するための法的対応の可能性を検討した。

検討結果

権利者団体等が主導して権利の集中管理を進めることや、標準的な許諾条件を契約ルールとして定めることなど、契約による権利処理を一層促進するための取り組みを早急に進めることが必要である。そして、契約促進の取り組みによる権利処理の進捗状況等を踏まえ、適宜法的対応の検討を進めることが必要である。

II. 権利制限の一般規定(日本版フェアユース規定)の導入

問題の所在

近年のデジタル技術や情報通信技術の発展を背景に、新たなネット関連ビジネスが登場するとともに、従来想定されなかったコンテンツの利用形態が出現している。

しかし、現行の著作権法は、個別具体の事例に沿って権利制限の規定を定めているため、これら規定に該当しない行為については、たとえ権利者の利益を不当に害しないものであっても形式的には違法となってしまう。

このような現状を踏まえ、技術の進歩や新たなビジネスモデルの出現に柔軟に対応できる法制度とするため、権利者の利益を不当に害しない公正な利用であれば許諾なしに著作物を利用できるようにする権利制限の一般規定を設けることについて検討を行った。

検討結果

個別の限定列挙方式による権利制限規定に加え、権利者の利益を不当に害しないと認められる一定の範囲内で、公正な利用を包括的に許容し得る権利制限の一般規定(日本版フェアユース規定)を導入することが適当である。

ただし、一般規定の導入に当たっては、

- i) 日本人の法意識等に照らしリスクを内包した制度はあまり活用されないのではないか、
- ii) さまざまな要素により社会全体のシステムが構成されており、経済的効果について過大な期待をかけるべきではないのではないか、
- iii) 一般規定の導入によりこれまで裁判例によって違法であるとされてきた行為が当然にすべて適法になるとの誤解等に基づいて違法行為が増加することが懸念され、訴訟コストの増加も含め権利者の負担が増加するのではないか、

iv) 法体系全体との関係や諸外国の法制との間でバランスを欠くことはないか、
という点を踏まえつつ、実際の規定振りを検討する必要がある。

III. ネット上に流通する違法コンテンツへの対策の強化

1. コンテンツの技術的な制限手段の回避に対する規制の在り方について(略)

2. インターネット・サービス・プロバイダの責任の在り方について

問題の所在

動画投稿サイトやファイルの添付が可能な携帯電話向け電子掲示板の普及など、著作物の流通形態が複雑化するとともに、プロバイダが果たす役割や機能も変化している。また、デジタル機器の発達やインターネットの通信速度の向上等により、誰もが簡単に動画ファイルやゲームソフトをアップロード・ダウンロードすることができるようになっており、ネット上の情報流通による権利侵害に関しては、著作権侵害事例が格段に増加している。このような状況を踏まえ、著作権侵害の対策および健全な通信サービスの運営の観点から、プロバイダ責任制限法が十分に機能しているかどうか検討を行った。

検討結果

自主的な取り組みを進展させることと併せて、制度上の見直しについても検討を行い、実効性のある方策を構築することが必要と考える。

対応案としては、例えば、著作権侵害防止の観点からは、民間の自主的な取り組みや技術開発のレベルなども踏まえつつ、動画投稿サイト運営者等特定のプロバイダには合理的な範囲で標準的なレベルの技術的な侵害防止措置の導入を義務付けることが考えられる。

また、事業者の予見可能性を高める観点からは、プロバイダ責任制限法の損害賠償責任や著作権法における差止請求等の範囲の在り方を見直し、著作権侵害防止措置を導入していること等一定の要件を満たす事業者は、損害賠償請求や差止請求などを受けないこととする明確な免責規定を設けることが考えられる。

3. 著作権法におけるいわゆる「間接侵害」への対応について(略)

4. 国際的な制度調和等について(略)

2008年度CDレンタル店実態調査

当協会では、全国のCDレンタル店の実態調査を、毎年当協会調査員による訪店調査により実施している。25回目となる今年は、前回同様地域・規模・業態を勘案したサンプル調査方式で1,159店の訪店調査を行った。

調査概要

- 調査期間：2008年4月～6月
 - 調査方法：対象店舗への訪店調査
 - 調査店舗数：1,159店
 - 調査：(社)日本レコード協会業務部調査室
- ※在庫総数は調査結果を基に全店規模を推計した

2008年の特徴

1. 店舗の大型化 (図-1参照)

店舗全体(他の売場を含む)の面積(前年比9%増)、CDレンタルコーナー(同11%増)、DVDとビデオレンタルコーナー(同4%増)、新品・中古CD販売、書籍、ゲームソフトの販売などその他コーナー(同11%増)と、すべての項目について大型化が進んでいる。

2. レンタル用CDアルバム在庫の増加 (図-2参照)

アルバム在庫の増加が続き、全体・1店舗当たりの在庫数ともに増加した。シングルの在庫が減少したがCD全体の在庫数は増加している。総在庫数のシングル・アルバム比は昨年の13対87から9対91になった。

3. 書籍レンタル兼業店の増加

兼業店における書籍レンタル(コミックを含む)の取り扱いが大幅に増加し、取扱店舗が全体の24.2%(前年11.6%)になった。

● 店舗数2.0%減少

CDレンタル店舗数は1989年末の6,213店をピークに毎年減少を続け、2008年6月末現在で3,051店と前年比2.0%減、89年対比で50.9%減となった。

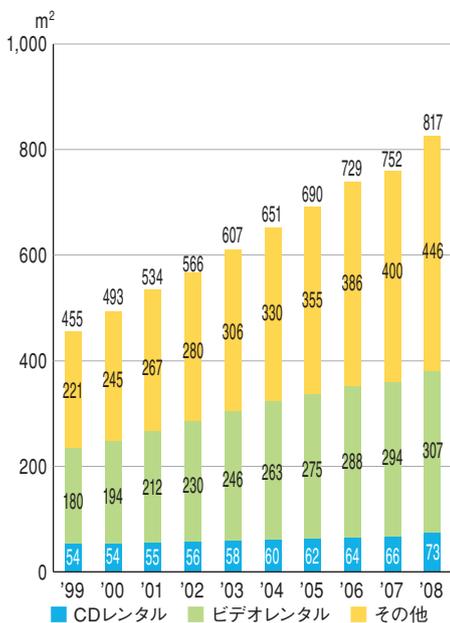
また、今年1月から6月までの間に、新規開業店は215店、閉店は280店と、495店が入れ替わっている。(図-3参照)

● CDレンタル店の兼業状況

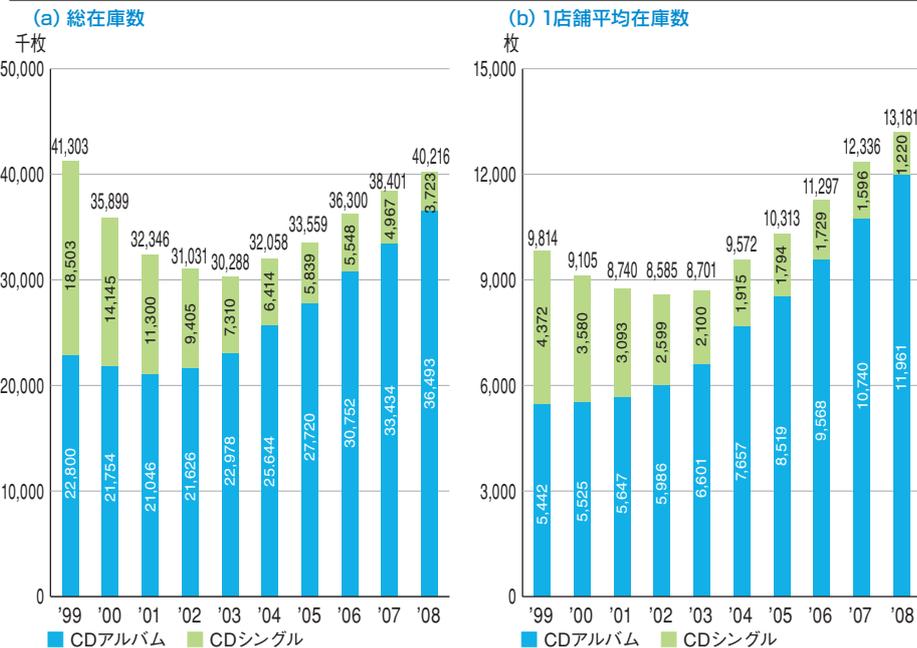
兼業の状況は書籍レンタルが大幅に増加し、その他は昨年とほぼ同じであった。兼業状況の内訳を見ると、中古CD販売97.2%(前年97.6%)、中古CD買取店31.8%(同32.0%)、書籍販売55.5%(同54.3%)、ゲームソフト販売49.5%(同47.5%)、コミックを含む書籍レンタルは24.2%(同11.6%)となっている。

一方CDレンタル専門店は全体の0.1%(同0.3%)、AVレンタル店(CDとビデオ・DVDのレンタルのみ)が全体の16.7%(同19.0%)とわずかに減少している。

■ 図-1: 店舗面積 (1店舗平均)



■ 図-2: CD在庫状況



在庫のDVD化が進む映像レンタルについて、ビデオテープの取扱店舗が全体の80.4% (前年98.4%)と大幅に減少した。DVD対ビデオの在庫比率は9対1(同7対3)となった。(表-1参照)。

● CDレンタル店の在庫

ここ数年の傾向として、レンタル用CDの在庫数はシングルが減少、アルバムが増加し、全体は増加が続いている(前年比4.7%増)。

内訳を見ると、シングルは3,723千枚で前年比25.0%減、アルバムは36,493千枚で9.1%増となった。(図-2(a)参照)

また、1店舗当たりの平均在庫数で見ると、シングルは1,220枚で前年比23.6%減、アルバムは11,961枚で11.4%増となり、シングル・アルバムの合計在庫数は13,181枚で6.8%増となっている。(図-2(b)参照)

なお、CDの在庫規模による店舗数分布を見ると、小型店(4千枚未満)は前年比1.5ポイント減の2.9%、中型店(在庫数4千枚～1万枚未満)は5.3ポイント減の30.6%、大型店(1万枚～1万5千枚)は3.7ポイント増の35.1%、超大型店(1万5千枚以上)は3.0ポイント増の31.3%となり、在庫規模からも店舗の大型化がわかる結果となった。(図-2(c)参照)

ビデオレンタル兼業店のビデオテープの在庫数は、1店当たり平均4,161本(前年比45.1%減)と大幅に減少した。一方、DVDレンタル兼業店のDVD在庫数は、1店当たり平均26,186枚(前年比32.5%増)となり、ビデオテープとDVDの入れ替えがさらに進んでいる。

まとめ

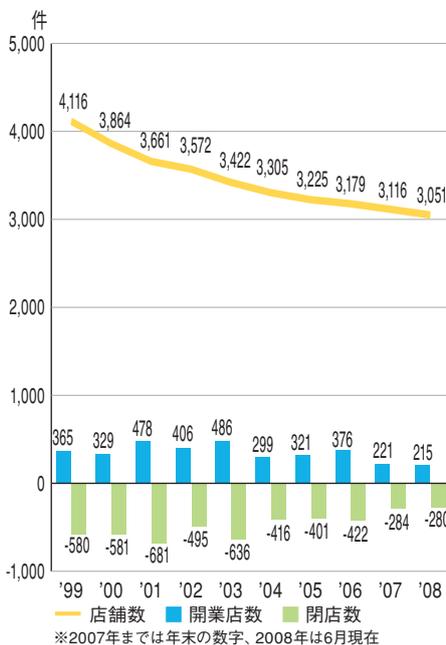
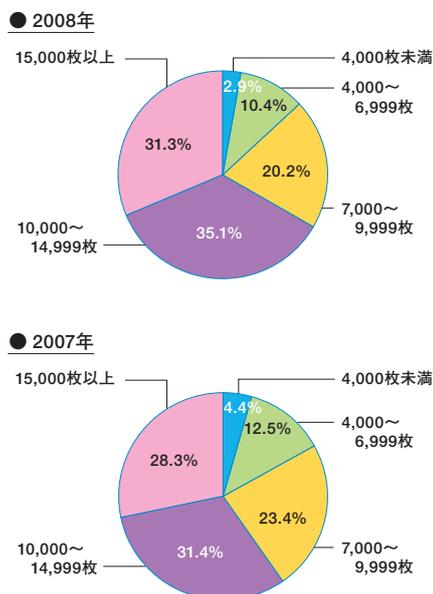
CDレンタル店は今年も店舗面積・在庫規模ともに拡大し、数年来の傾向である大型複合化が進んでいる。

CDはシングル対アルバム、映像はビデオ対DVDの在庫比率が大きく変わり、コミックを含む書籍レンタルの取扱店舗が大幅に増えるなど、市場のニーズに合わせて変化していることがわかる。

■ 図-3: CDレンタル店舗数と開業・閉店の推移

■ 表-1: ビデオ・DVD兼業状況と比率

(c) CD在庫規模別の店舗数分布状況



	兼業率		在庫比率 ビデオ: DVD
	ビデオテープ	DVD	
2008年	80.4%	99.8%	11:89
2007年	98.4%	99.6%	28:72
2006年	99.1%	99.4%	49:51

PICK UP

今月のニュース・ピックアップ

PICK UP

慶應義塾大学寄付講座で「音楽のプロデュース～アーティストとともに」を公開講座形式で実施

10月2日、当協会の慶應義塾大学寄付講座「クリエイティブ産業研究Ⅱ」では、公開講座「音楽のプロデュース～アーティストとともに」を開催した。講師に、音楽プロデューサー武部聡志氏を招き、創造性を魅力的なコンテンツにつなげる思考の現場をプロデューサーの立場からお話いただいた。

講義が行われた慶應三田キャンパス北館ホールは、公開講座とあって履修生のほかに、会員社を始め多くの聴講者で埋まった。登壇した武部氏は、「人の心を動かす、心に伝わる音楽を」という自身の仕事にける思いを中心に、音楽プロデューサーという職業を解き明かしていった。

実際の仕事の現場での様子が綴られたVTRを上映後、日本の音楽プロデューサーの状況を概説。さらにアーティストのデモテープを交えつつ、ケースごとの仕事の流れを紹介し、アーティストの声質と個性に沿ったプロデュース方法を浮き彫りにしていった。アーティストとのバトルも辞さない、妥協のない仕事ぶりが語られる講義は緊張感に満ち、聴講者も静かに耳を澄ました。本講義の後の質疑応

答では、「新人アーティストのどこに可能性を見るか?」「評価が低いときにどうするか?」ほか興味深い質問が出され、武部氏はその都度、丁寧に答えていった。

濃密な90分の講義で、体験から出た多くの重みのある言葉が語られた。その中でも「成功したらアーティストの成功、失敗したらプロデューサーの責任。そう思っていないといい作品は作れない」という言葉が印象的であった。武部氏の、謙虚に音楽の深みを掘り下げていく仕事の本質を表している。音楽という一分野にとどまらず、これからさまざまな業界へ入っていく学生、今まさに多様な仕事に携わっている社会人の双方とも、力強い示唆を得たことであろう。

※武部氏からのメッセージは14ページのMessage & Opinionにて掲載。



音楽プロデューサー 武部聡志氏

大学在学中よりキーボーディスト、アレンジャーとして数多くのアーティストを手がける。1983年より松任谷由美コンサートツアーの音楽監督を担当。1990年より本格的に音楽プロデューサーとしての活動に入る。500名を超えるアーティストと関わり、2000曲以上におよぶ作曲、編曲、プロデュースを行う。一青窈、大黒摩季、今井美樹etc.のプロデュース、CX系ドラマ「BEACH BOYS」、「西遊記」etc.の音楽担当、CX系「僕らの音楽～OUR MUSIC～」の音楽監督等、多岐にわたり活躍している。

PICK UP

海賊版・偽ブランド撲滅キャンペーン

買わない! 持たない! 許さない! 海賊版・偽ブランド「ほんと? ホント! フェア in 横浜」開催

不正商品対策協議会では、9月27～28日、クイーンズスクエア横浜において、第22回海賊版・偽ブランド撲滅キャンペーン「ほんと? ホント! フェア in 横浜」を開催した。

このイベントは、海賊版やブランド品などのニセモノを排除することを目的に「不正商品を買わない! 持たない! 許さない!」をスローガンに掲げ、横浜みなとみらいのクイーンズスクエア横浜・クイーンズサークルに特設会場を設け、広く一般消費者に向けて啓発活動を実施したものである。

当日は、映画や音楽のDVD、CD、ブランド品のバッグ、キャラ

クター商品、ゲームやコンピュータのソフトなど不正商品に関するクイズやホンモノニセモノの比較展示、28日には、人気お笑いコンビのTKOを「海賊版・偽ブランド撲滅キャンペーン隊長」に迎え「〇×クイズ大会」を行った。会場には2日間で3,000人以上の来場者があり、大いに盛り上がりを見せた。

開催概要

名称: 海賊版・偽ブランド撲滅キャンペーン
買わない! 持たない! 許さない! 海賊版・偽ブランド「ほんと? ホント! フェア in 横浜」
期日: 2008年9月27～28日
会場: クイーンズスクエア横浜 クイーンズサークル
横浜市西区みなとみらい2丁目3番
主催: 不正商品対策協議会
＜正会員＞
(社)日本映像ソフト協会、(社)日本音楽著作権協会、日本国際映画著作権協会、日本商品化権協会、(社)日本レコード協会、ビジネス ソフトウェア アライアンス、有限責任中間法人ユニオン・デ・ファブリカン東京 50音順
＜協賛会員＞
(社)コンピュータソフトウェア著作権協会、LVJグループ(株)、シャネル(株)、エルメスジャポン(株)
後援: 警察庁、神奈川県警察本部、神奈川県、横浜市
協力: 松竹芸能(株)、(株)モリサワ



Monthly Production Report

2008年9月度レコード生産実績

9月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)生産実績は、数量で前年同月比105%の2,536万枚・巻、金額で同97%の294億円となりました。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比103%の2,160万枚・巻、金額で同94%の245億円、音楽ビデオが、数量で前年同月比115%の376万枚・巻、金額で同115%の48億円となっています。

● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

		9月実績						2008年1月～2008年9月累計						
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
シ	8cmCD	邦	15	0	64%	10	0	75%	149	0	77%	87	0	87%
		洋	0	0	-	0	0	-	29	0	25%	3	0	17%
		計	15	0	64%	10	0	75%	177	0	58%	90	0	75%
ン	12cmCD	邦	3,687	17	98%	2,868	12	93%	39,319	22	86%	29,572	14	85%
		洋	6	0	6%	4	0	4%	360	0	79%	148	0	46%
		計	3,693	17	96%	2,872	12	90%	39,679	22	86%	29,720	14	85%
ル	小計	邦	3,702	17	98%	2,878	12	92%	39,468	22	86%	29,659	14	85%
		洋	6	0	6%	4	0	4%	389	0	68%	151	0	45%
		計	3,707	17	96%	2,882	12	90%	39,857	22	86%	29,810	14	85%
12cmCD アルバム	邦	11,888	55	103%	15,089	62	93%	97,539	53	100%	137,444	63	98%	
	洋	5,531	26	114%	6,116	25	103%	41,125	23	89%	47,190	22	84%	
	計	17,419	81	106%	21,205	86	96%	138,664	76	97%	184,634	85	94%	
CD 合計	邦	15,590	72	102%	17,968	73	93%	137,006	75	96%	167,102	77	96%	
	洋	5,536	26	112%	6,120	25	102%	41,514	23	89%	47,341	22	84%	
	計	21,126	98	104%	24,087	98	95%	178,520	98	94%	214,443	98	93%	
アナログ ディスク	邦	7	0	63%	16	0	60%	84	0	66%	123	0	64%	
	洋	3	0	7%	6	0	6%	46	0	43%	93	0	42%	
	計	10	0	20%	21	0	19%	130	0	56%	216	0	52%	
カセット テープ	邦	442	2	80%	380	2	79%	3,451	2	80%	2,785	1	82%	
	洋	0	0	0%	0	0	0%	1	0	41%	0	0	46%	
	計	442	2	80%	380	2	79%	3,452	2	80%	2,785	1	82%	
その他	邦	14	0	132%	26	0	127%	214	0	96%	370	0	90%	
	洋	12	0	117%	18	0	67%	177	0	108%	235	0	73%	
	計	26	0	125%	44	0	93%	391	0	101%	605	0	83%	
合計	邦	16,053	74	101%	18,389	75	92%	140,756	77	95%	170,380	78	95%	
	洋	5,551	26	111%	6,144	25	100%	41,737	23	89%	47,669	22	84%	
	計	21,604	100	103%	24,533	100	94%	182,493	100	94%	218,049	100	92%	

● 音楽ビデオ

		9月実績						2008年1月～2008年9月累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	邦	3,246	86	107%	4,107	85	109%	38,108	92	118%	43,907	90	131%
	洋	506	13	231%	712	15	173%	3,034	7	105%	4,692	10	108%
	計	3,752	100	115%	4,819	100	115%	41,142	100	117%	48,599	100	128%
テープ・LDその他		3	0	45%	12	0	125%	72	0	28%	176	0	50%
合計	邦	3,249	87	107%	4,119	85	109%	38,178	93	117%	44,074	90	130%
	洋	506	13	231%	713	15	173%	3,036	7	102%	4,701	10	108%
	計	3,755	100	115%	4,832	100	115%	41,213	100	116%	48,774	100	128%

● 音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

		9月実績						2008年1月～2008年9月累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ		21,604	85	103%	24,533	84	94%	182,493	82	94%	218,049	82	92%
音楽ビデオ		3,755	15	115%	4,832	16	115%	41,213	18	116%	48,774	18	128%
合計		25,360	100	105%	29,365	100	97%	223,706	100	97%	266,823	100	97%

● ビデオ(含音楽ビデオ)

		9月実績						2008年1月～2008年9月累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD		6,980	100	106%	12,730	99	89%	69,866	100	103%	127,331	99	103%
テープ・LDその他		17	0	103%	86	1	242%	203	0	26%	695	1	72%
合計		6,997	100	106%	12,816	100	90%	70,070	100	102%	128,025	100	103%

● オーディオ/ビデオ合計

		9月実績						2008年1月～2008年9月累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ		21,604	76	103%	24,533	66	94%	182,493	72	94%	218,049	63	92%
ビデオ		6,997	24	106%	12,816	34	90%	70,070	28	102%	128,025	37	103%
合計		28,602	100	104%	37,349	100	93%	252,562	100	96%	346,074	100	96%

備考 1. 上記実績は、会員会社「46社」の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
*オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

音楽ソフト

邦楽

アルバム

● トリプル・プラチナ			
A COMPLETE ～ALL SINGLES～	浜崎あゆみ	2008.09.10	AMI
● ダブル・プラチナ			
B'z The Best "ULTRA Treasure"	B'z	2008.09.17	BM
● プラチナ			
The Birthday ～Ti Amo～ super.modern.artistic.performance	EXILE SMAP	2008.09.24 2008.09.24	AMI V
● ゴールド			
FUNKAHOLiC	スガシカオ	2008.09.10	BMG
12 Love Stories	童子-T	2008.09.24	UM
LIGHT IN YOUR HEART / Swing!	V6	2008.09.17	AMI
TIME	MONKEY MAJIK	2008.09.03	AMI
クライマックス ロマンティック・ソングス	ヴァリアス	2008.08.20	MH
キミとこのうた ～コラボレーション～	V.A.	2008.09.10	UM

シングル

● プラチナ			
HANABI	Mr.Children	2008.09.03	TF
● ゴールド			
愛のままで・・・	秋元順子	2008.01.23	K
あなたと	絢香×コブクロ	2008.09.24	WJ
手紙～拝啓 十五の君へ～	アンジェラ・アキ	2008.09.17	ES
紅と黒のMATADORA / I LOVE YOUをさがしてる	GLAY	2008.09.10	EMI
君のすべてに	Spontania feat. JUJU	2008.08.13	UM
悲愴感	悲愴感	2008.08.27	PC

洋楽

アルバム

● プラチナ			
美しき生命	COLDPLAY	2008.06.11	EMI
● ゴールド			
WAIT FOR YOU	ELLIOTT YAMIN	2008.05.21	AMI
神々のシンフォニー	サラ・ブライトマン	2008.02.27	EMI
イヤ～オブ・ザ・ジェントルマン	Ne-Yo	2008.09.11	UM
デス・マグネティック	メタリカ	2008.09.12	UM

※日付は発売日

認定基準一覧

音楽ソフト(邦・洋、アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた(R)、着うたフル(R)、パソコンダウンロードシングル・アルバム)共通

名称	略号	基準
ゴールド	G	10万以上
プラチナ	P	25万以上
ダブル・プラチナ	PP	50万以上
トリプル・プラチナ	PPP	75万以上
ミリオン	M	100万以上
2ミリオン	2M	200万以上
3ミリオン	3M	300万以上
以降、100万毎に賞を設定		

基準単位：音楽ソフト・枚、配信・DL(ダウンロード)
※着うた(R)のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※AI：ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ／AMI：エイベックス・マーケティング／BM：バーミリオンレコード／BMG：BMG JAPAN／DF：デフスターレコーズ／EMI：EMIミュージック・ジャパン／ES：EPICレコードジャパン／K：キングレコード／MH：ソニー・ミュージックダイレクト／PC：ポニーキャニオン／SE：エスエムイーレコーズ／SR：ソニー・ミュージックレコーズ／TF：トイズファクトリー／UM：ユニバーサルミュージック／V：ビクターエンタテインメント／WJ：ワーナーミュージック・ジャパン／YRC：よしもとアール・アンド・シー

有料音楽配信(「着うた(R)」他)

「着うた(R)」

邦楽

● トリプル・プラチナ			
何度も	青山テルマ	2008.06.12	UM
anytime	倅田来未	2008.01.09	AMI
君のすべてに	Spontania feat. JUJU	2008.07.02	UM
● ダブル・プラチナ			
Ti Amo	EXILE	2008.09.10	AMI
泣かないで	羞恥心	2008.06.04	PC
キミに歌ったラブソング	Lil'B	2008.07.30	DF

「着うたフル(R)」

邦楽

● ダブル・プラチナ			
君のすべてに	Spontania feat. JUJU	2008.07.23	UM
● プラチナ			
M ～もうひとつのラブストーリー～	RSP	2008.06.04	SR
Ti Amo	EXILE	2008.09.10	AMI
道	GReeeeN	2007.01.17	UM
M	PRINCESS PRINCESS	2005.02.23	SE
キミに歌ったラブソング	Lil'B	2008.08.27	DF
● ゴールド			
INNOCENT SORROW	abingdon boys school	2006.12.06	ES
あなたと	絢香×コブクロ	2008.09.24	WJ
陽は、また昇る	アラジン	2008.08.02	YRC
コイスルオトメ	いきものがかり	2006.10.18	ES
激動	UVERworld	2008.06.11	SR
約束の日 feat. 青山テルマ	童子-T	2008.09.10	UM
エル・ミラドル ～展望台の唄～	nobodyknows+	2005.07.06	AI
悲愴感	悲愴感	2008.08.27	PC

洋楽

● ゴールド			
WAIT FOR YOU	ELLIOTT YAMIN	2008.04.23	AMI
美しき生命	コールドプレイ	2008.06.10	EMI

PC配信(シングル)

邦楽

● ゴールド			
何度も	青山テルマ	2008.07.09	UM

※日付は配信開始日

心を動かすということ

Message & Opinion



音楽プロデューサー 武部聡志氏

長年、音楽制作の現場に携わっていますが、仕事として、音楽を制作していると、テクニカルな部分にこだわりがちになります。しかし、最終的には音楽やアーティストに対する誠意に勝るものはないと考えています。アーティストは伝えたい言葉や音楽をたくさん持っています。しかし、それをどう表現していいのかわからない。私達は、その純粹なものを形にし、世の中に送り出していく役目を担っていると考えます。アーティストと制作側の信頼関係があってこそ、感性を評価しあってこそ、人の心に訴えかける音楽ができるのです。

今回ご縁があって、慶應義塾大学公開講座の講師を務めました。この仕事には正しいとか間違っているという道筋はありません。ですからノウハウではなく、私自身のポリシーを素直に伝えることによって、聴講者の皆さんが、何かを感じたり、考えたりするきっかけになればと思い講義に臨みました。どの時代にも既存の仕組みを変えたり、壊したりして新しいものを生み出すのは若い人であり、その無限の可能性を秘めている今の若い人に伝えなかったこと。それは、フォーマットにとらわれず、「僕はこれが好きだ」と語れる個性をアピールできることが、音楽業界に関わらず大事であるということです。情熱や強い思いに、人は動かされることがあります。ですから、自分を掘り下げて、そのような強い思いにつながる個性を見出してもらいたいということです。そして、いろんなことに興味を持ち、積極的に取り組み、自分の幅を広げること。これは音楽だけではなく、どの分野にも共通することだと考えます。

私自身、これからもさまざまなことに挑戦し、いつまでも人の心を動かす音楽を創り、世の中に送り出していきたいと思っています。

(談)

編集後記

4日間にわたって開催された第5回東京アジア・ミュージックマーケットが幕を閉じました。今回は初めて、欧米からの音楽関係者も招致しましたが、会場は例年以上に活気にあふれ、大いに盛り上がりを見せました。開催期間中、さまざまな方からお話を伺う機会がありましたが、国内外を問わず、彼らの音楽に対する熱い思いは心打たれるものがありました。日本の音楽コンテンツを広く海外に発信させるという目的だけではなく、新しい音楽との出会いの場の提供といった意味でも、TAMは大きな役割を果たしたのではないのかと思います。TAMのさらなる発展を期待しています。(T)

協会からのお知らせ



当協会加盟31社は、今年度も2009年1月23日から2月6日にかけて、インターネットを利用した通信販売による「レコードファン感謝祭2008～廃盤CDディスカウントセール～」を開催します。なお、昨年度までは2回に分けて実施していましたが、今年度は1回の開催となります。

開催概要

名称：「レコードファン感謝祭2008～廃盤CDディスカウントセール～」
開催日程：2009年1月23日(金)午後3時～2月6日(金)午後3時
12月26日(金)から告知サイト開始、事前商品閲覧とユーザー登録ができます。
商品の注文は1月23日(金)午後3時より開始します(先着順)。
主催：(社)日本レコード協会加盟メーカー31社
協賛：(社)日本レコード協会
運営：(株)ジャパンミュージックデータ
出品：CD(8cm、12cm)、カセットテープ、アナログディスク、ビデオ
出品数：約3,500タイトル、70,000枚(予定)
販売価格：廃盤 定価の70%OFF
※そのほか、輸入盤・時限再販期間経過商品等を割引価格で販売。



<http://www.mamo-on.jp>

THE RECORD No.588 2008年11月号
社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 石坂 敬一
編集人 生野 秀年
発行日 2008年11月10日
発行 社団法人 日本レコード協会
〒107-0061 東京都港区北青山2-12-16 北青山吉川ビル11F
TEL. 03-6406-0510(代) FAX. 03-6406-0520(代)
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフピーアイ・コミュニケーションズ